

第40回 河内長野市地域公共交通会議次第
日時 平成30年6月27日（水）
午後3時から
場所 河内長野市役所802会議室

1. 開会

2. 議題

- (1) 「平成29年度河内長野市地域公共交通会議決算報告」について
- (2) 「平成29年度各コミュニティバス等（モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー）」の利用状況について
- (3) 企画乗車券 PR チラシ・ポスターについて
- (4) モックルコミュニティバス新車導入について
- (5) 平成31年度生活交通確保維持改善計画（フィーダー）認定申請について
- (6) 高齢者公共交通利用促進事業について
- (7) その他

3. 閉会

1 歳入

(単位：円)

款 項 目	予算額	決算額	比較	説 明
1 負担金	0	0	0	
1 負担金				
1 負担金				
2 補助金	10,207,000	7,114,624	-3,092,376	市補助金 4,652,624円 国補助金 2,462,000円
1 補助金				
1 補助金				
3 繰越金	0	0	0	
1 繰越金				
1 繰越金				
4 諸収入	1,000	0	-1,000	預金利子 0円
1 諸収入				
1 雑入				
合 計	10,208,000	7,114,624	-3,093,376	

2 歳出

(単位：円)

款 項 目	予算額	決算額	比較	説 明
1 運営費	50,000	648	-49,352	事業費振込み手数料 648円
1 会議費				
1 会議費				
2 事務費				
2 事務費				
2 事業費	10,157,000	7,113,976	-3,043,024	「河内長野市公共交通のあり方および河内長野市地域公共交通網形成計画—改訂版—」策定業務 4,989,600円 (市補助金 2,527,600円、国補助金 2,462,000円) モックル上限運賃200円および同伴者割引の試行運行 1,544,339円 千代田線上限運賃200円の試行運行 196,037円 バス利用促進のための企画乗車券PRチラシ(表面)並びにバスマップ(裏面)作製 384,000円
1 事業費				
1 事業費				
3 予備費	1,000	0	-1,000	
1 予備費				
1 予備費				
合 計	10,208,000	7,114,624	-3,093,376	

収入総額 7,114,624 円
 支出総額 7,114,624 円
 差引残額 0 円

平成29年度河内長野市地域公共交通会議歳入歳出決算について歳入歳出差引簿及び関係証拠書類を審査したところ、全て正確かつ適正に処理されていると認められますので、ここに報告します。

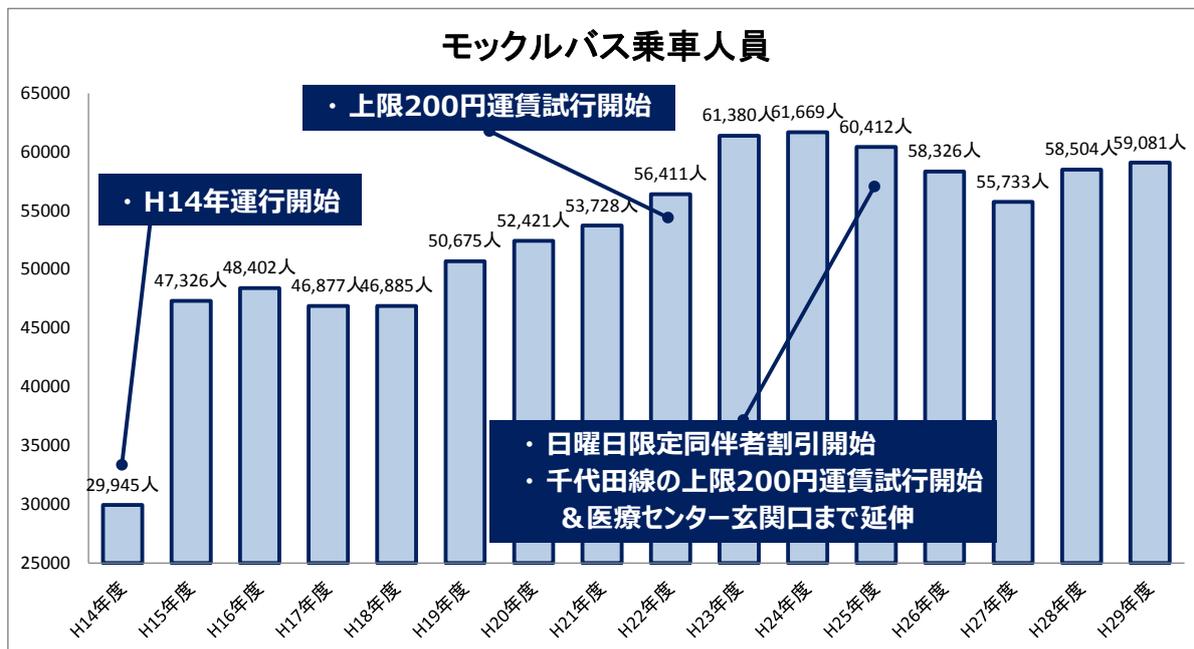
平成30年6月5日
 河内長野市地域公共交通会議

監 事 林 邦 昭 (印)
 監 事 甲斐 由 紀 (印)

平成29年度 モックルコミュニティバスの利用状況

- ☞ 計画⑤ 高齢者が利用しやすい公共交通環境の整備による外出の支援
- ☞ 計画⑨ 市民ニーズに対応した公共交通サービスの実現

① 利用者数の推移



年度	乗車人員 (人)			上限200円導入 前との比較 (21年度比 (%))	前年比 (%)
	南行き	北行き	合計		
平成21年度	25,737	27,991	53,728	—	102.5
平成22年度	26,386	30,025	56,411	105.0	105.0
平成23年度	28,872	32,508	61,380	114.2	108.8
平成24年度	28,694	32,975	61,669	114.8	100.5
平成25年度	27,793	32,619	60,412	112.4	98.0
平成26年度	26,336	31,990	58,326	108.6	96.5
平成27年度	25,638	30,095	55,733	103.7	95.6
平成28年度	26,963	31,541	58,504	108.9	105.0
平成29年度	27,440	31,641	59,081	110.0	101.0

【モックル】
上限200円【モックル】
同伴者割引
【千代田線】
上限200円

② 日曜日の利用者数および同伴者割引利用者数の推移

日曜利用者数の推移 (人)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
日曜	5,281	5,266	5,271	5,470
日曜以外	53,045	50,467	53,233	53,611

同伴者割引利用者数 (件)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
	417	366	434	446



くすまる ～平成29年度運行実績まとめ～

資料 2 - 2

- ☞ 計画 ⑩ 地域の特性とニーズに応じた運行の検討
- ☞ 計画 ⑬ 市民の積極的な参加を促進する働きかけ

29年度の主な取組み

- 【9月】 大阪市立大学・日野名誉教授との勉強会
- 【10月】 くすまる無料乗車デー（憩いの家竣工式典）
国土交通省・本省及び近畿運輸局 くすまる視察
- 【2月】 楠ヶ丘自治会思いやりバザー（回数券販売）
- 【3月】 国土交通省近畿運輸局長表彰受賞式

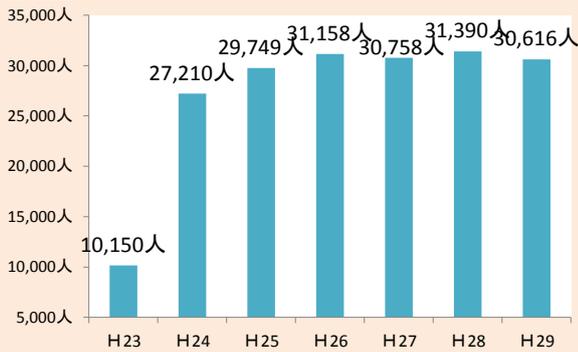


日野先生 勉強会



近畿運輸局長表彰式

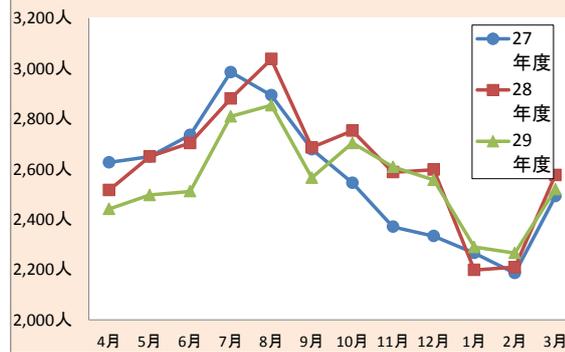
合計利用者数の推移



◆28年度比で減少◆

無料乗車デーや思いやりバザーでの回数券販売等を実施しましたが、28年度と比較し2.5%の減少となりました。年度途中まで、地域の集会所である「憩いの家（自治会館）」が建替工事のため閉鎖されていたことも大きな要因と考えられます。

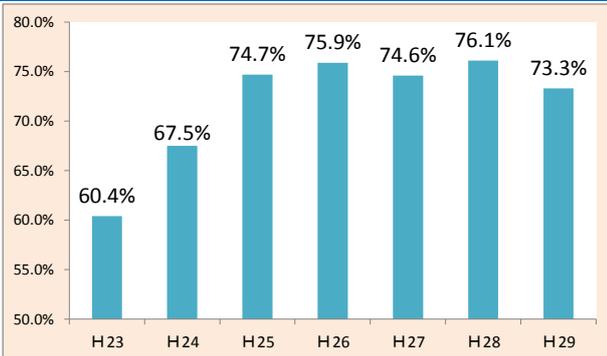
29年度中の月別利用者数



◆11月以降は好調◆

年度当初は前年度を下回っていましたが、憩いの家の建替が完了した11月以降は過去最高実績を記録した28年度と同等の数値を記録しています。

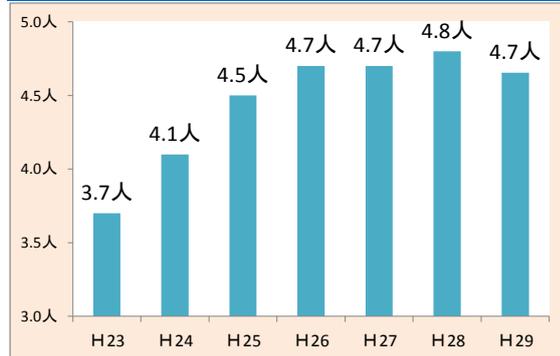
収支率の推移



◆運行経費、運賃収入、市の負担は？◆

運行経費：約814万円、運賃収入：約597万円、市負担額：約218万円
 ※運賃収入には自治会が負担した「無料乗車デー」の経費を含む
 ※市負担額には事業者の収益分（黒字分）を含む

1便あたりの平均乗車人数の推移



◆目標未達成◆

29年度の目標であった「1便平均4.9人」には届きませんでした。30年度は目標達成・記録更新を目指し、地域・事業者としっかり連携してまいります。

30年度の取組み（予定）

- 無料乗車デーの実施（今年度は2回）
 ※5月6日(日)に開催済み。くすまと路線バスを活用したおでかけプラン「くすまるさんぽ」も発案
- 地蔵尊祭りやPRブースを設置し、回数券の販売やPR資料の配布など利用啓発を実施
- 回数券の販売方法の改善（時期を定めて購入していたものを毎月購入できるように変更）
- くすまるPR動画の作成（youtubeに投稿予定）
- 路線・時刻等を記載した新たなマップの作成

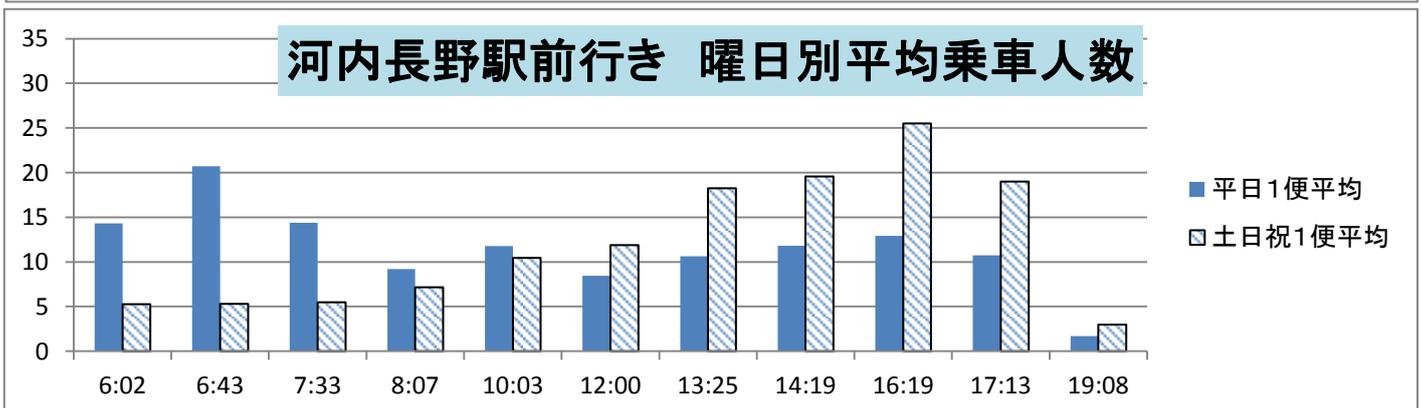
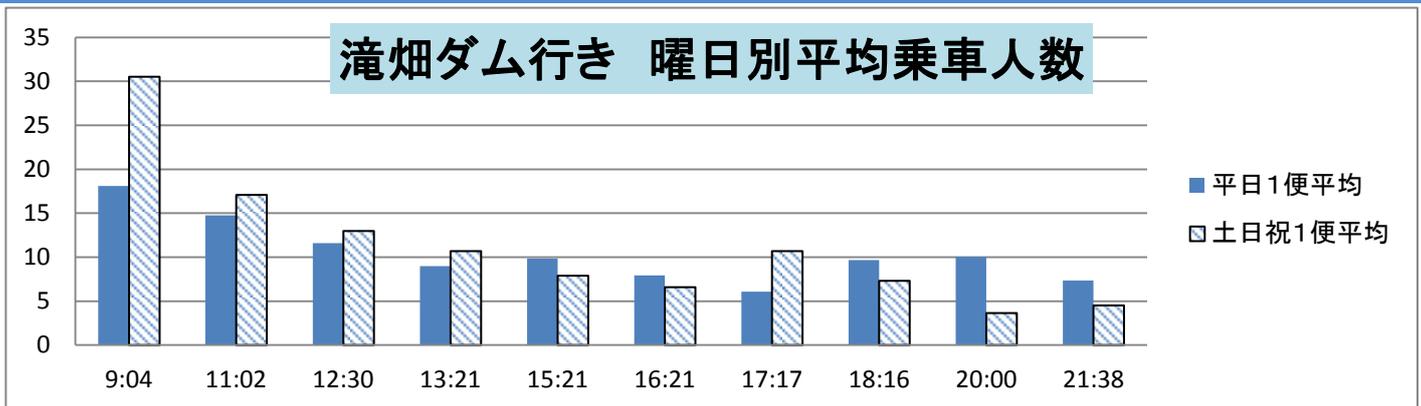
- 👉 計画 ⑨ 市民ニーズに対応した公共交通サービスの実現
- 👉 計画 ⑪ 沿線施設や交通事業者等との連携

① 利用者数の推移

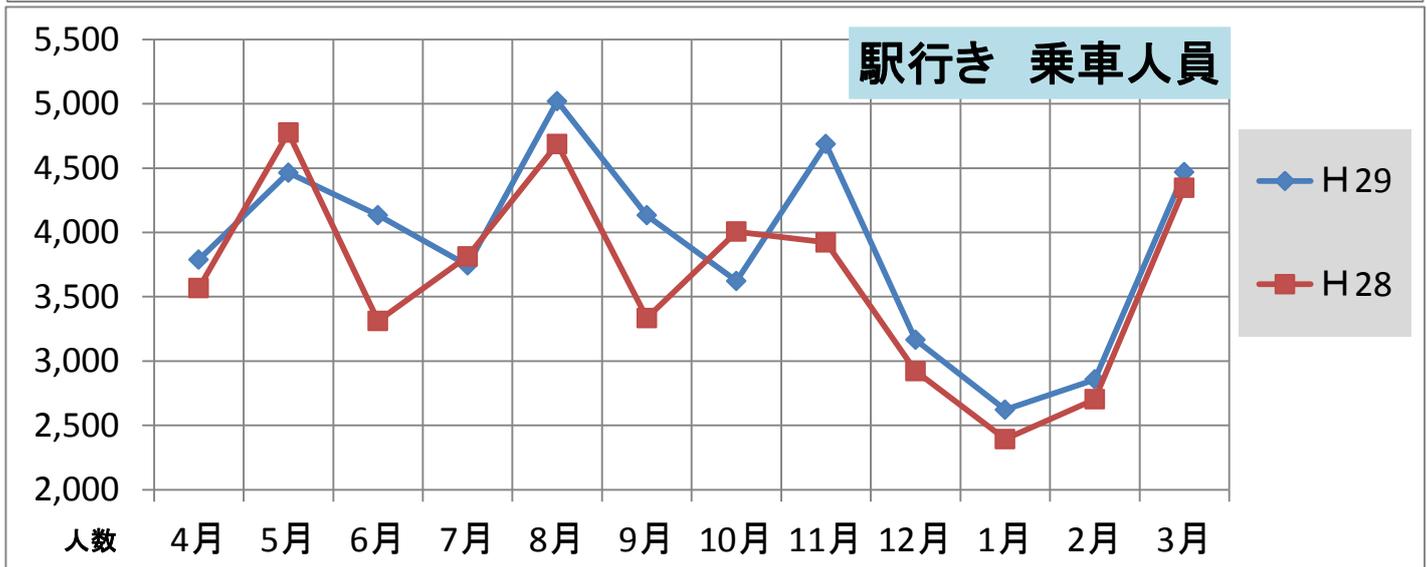
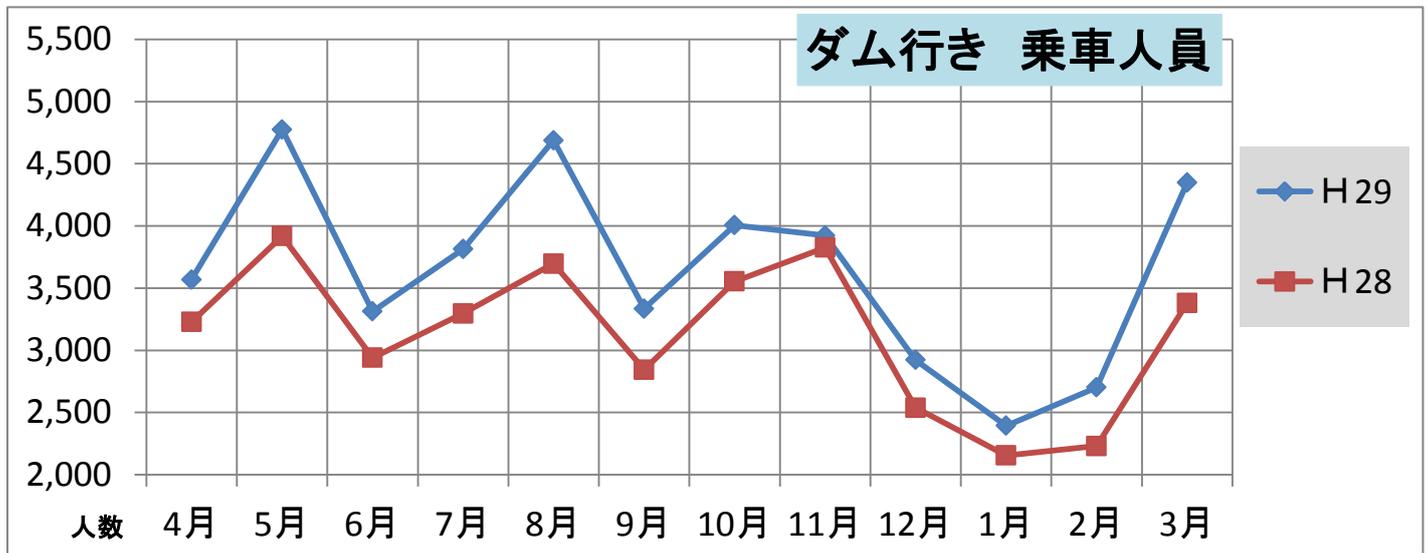
年度	乗車人員（人）			前年比（%） （前年同月比）
	滝畑ダム行き	河内長野駅前行き	合計	
平成20年度	41,085	47,247	88,332	-
平成21年度	39,552	45,503	85,055	96.2
平成22年度	38,928	44,106	83,034	97.6
平成23年度	39,181	44,048	83,229	100.2
平成24年度	38,046	42,852	80,898	97.2
平成25年度	37,463	43,862	81,325	100.5
平成26年度	35,483	42,519	78,002	95.9
平成27年度	38,290	44,046	82,336	105.6
平成28年度	37,604	43,783	81,387	98.8
平成29年度	38,099	46,701	84,800	104.2

② 土日祝の利用者数の推移

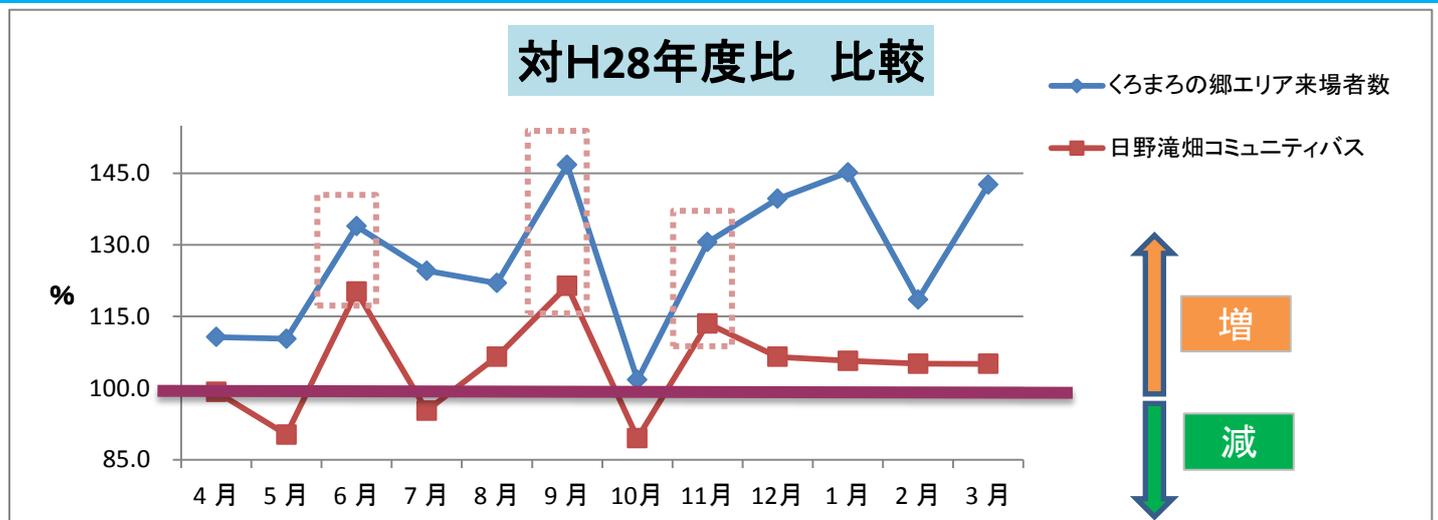
年度	土日祝日の日数	土日祝日の乗車人員（人）			H27年度比 （%）
		滝畑ダム行き	河内長野駅前行き	合計	
平成27年度	120	12,845	15,164	28,009	-
平成28年度	119	12,340	14,523	26,863	95.9
平成29年度	118	12,494	15,309	27,803	99.3



③ 平成29年度 月別乗車人員



④ くろまろの郷エリアと日野滝畑コミュニティバスの利用者数対H28年度比



※くろまろの郷エリア

…道の駅 奥河内くろまろの郷、JAあすかできらで、花の文化園、木根館、ふるさと歴史学習館

H29年度対前年度比	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
くろまろエリア	110.7	110.3	133.9	124.6	122.0	146.8	101.7	130.6	139.7	145.2	118.5	142.6
日野滝畑コミュニティバス	99.2	90.2	120.2	95.3	106.6	121.4	89.5	113.5	106.5	105.7	105.1	105.1

6、9、11月…日野滝畑コミュニティバス利用者数が大幅に増加した月(対前年度同月より1,000人以上増加)

5、10月…日野滝畑コミュニティバス利用者数が大幅に減少した月(対前年同月より700~900以上減少)

- 👉 計画 ① まちづくり、観光等様々な分野との連携
- 👉 計画 ⑪ 沿線施設や交通事業者等との連携

① 沿線別店舗利用件数

日野・滝畑コミュニティバス沿線

奥河内くろまろの郷
関西サイクルスポーツセンター
あすかでくるで
滝畑湖畔観光農林組合
府立花の文化園
(株)広栄社 つまよじ資料室
木根館
菓子工房 ナボット

745件

河内長野駅周辺

酒蔵にしおか
河内長野荘
緑香園
天野酒 西條合資会社
千都誠苑
(株)塔本博文堂
フルーツギフト&デザートカフェ ツルザワ
ACT WITH
マニ・カー
友井堂
ミスタードーナツ

363件

河内長野庁舎線・千代田線・小山田線沿線

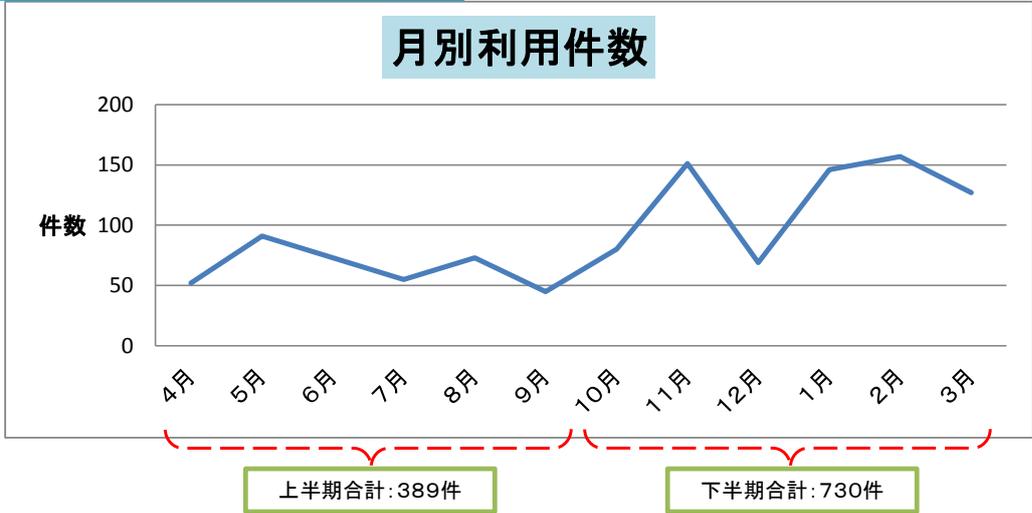
三日市町駅周辺／小深・小吹台団地線

千慕里庵
手作り惣菜・弁当 いろいろ
古美術 紀州屋
フラワー+アンティークKAFU花風
観心寺

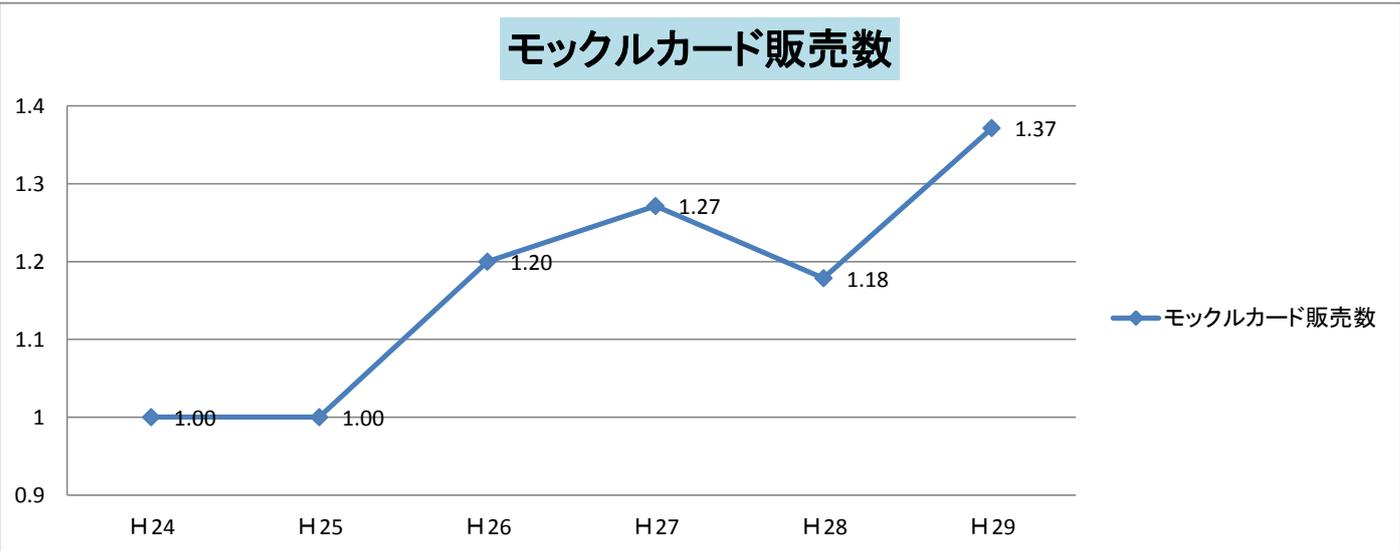
11件

② 月別利用件数

4月	52	件
5月	91	件
6月	73	件
7月	55	件
8月	73	件
9月	45	件
10月	80	件
11月	151	件
12月	69	件
1月	146	件
2月	157	件
3月	127	件
合計	1119	件



③ 年度別モックルカード販売件数



計画 ⑨ 市民ニーズに対応した公共交通サービスの実現 等

1. 充実ポイント



① 重複ルートの解消！！

「乗車時間が長くて疲れる」「早く目的地に着きたい」などの声を受けて、ラプリーホール～市役所間で重複していたルートを見直しました（下図）。



② ダイヤの改善！！

「病院に早く行きたい」「美加の台駅行き12時台がほしい」などのニーズに対応し、ダイヤを見直しました。

北行き 午前便を繰り上げ！

美加の台駅前発（始発8時台～11時）

南行き 12時台の新設！

大阪南医療センター玄関口発（始発）

新	8:34	9:34	10:24	11:24
---	------	------	-------	-------

10分
繰り上げ！

20分
繰り上げ！

新	11:14	12:14	13:54
---	-------	-------	-------

午前中の診療終わりに
ちょうど使いやすい！

旧	8:44	9:44	10:44	11:44
---	------	------	-------	-------

旧	11:36		13:36
---	-------	--	-------

③ 車両の充実！

16席→24席に！

座席の**増設！**

手押し車やベビーカー
でもラクラク！

通路の**拡幅！**

視認性の高い
ボディーカラー・デザイン！

外観を**一新！**

2. 車内アナウンス

大阪府
初！

○内 容
市内小学生による乗車マナー啓発のアナウンスをバス車内で放送

○目 的
利用者のマナー向上や事故防止のほか、次世代を担う子ども達に市民生活に欠かせないバスをより身近に感じてもらうことで愛着を醸成し、今後の利用促進につなげる。

○対象路線
モックルコミュニティバス（美加の台駅前～大阪南医療センター玄関口）
※1運行5名（往復10名）の音声を放送



3. 新車お披露目記念式典（試乗会）

- 日 時 平成30年6月9日（土） 14時～15時
- 場 所 河内長野市役所 市民広場
- 内 容 ①主催者あいさつ ②来賓紹介
③車内アナウンス協力者（市内小学生）紹介
④テープカット ⑤試乗会
- 取 材 J:COM、読売新聞、陸運新報



モックルコミュニティバス新車導入について

4. 運行開始前後の取組み

○6/14(木)からの新車両・ダイヤ・ルートの変更を周知

- 6月号広報（特集記事）への掲載及び市公式SNS等での発信
- 変更内容を記載したバスマップの配布（市内公共・観光・商業施設等）
- モックルコミュニティバス車内への周知ポスターの掲示
- 6/11(月)からモックルコミュニティバスに乗り込み、利用者への周知、時刻表の配布

○運行開始日当日の対応

- 始発便に乗り込み、利用者への周知、時刻表の配布
- 南海バス様にもご協力いただき、バス車内での周知及び三日市町駅前での時刻表の配布も実施

★ご注意ください★

6/14(木)～
ダイヤと一部ルート
を変更しています。



5. 利用者の声

- 路線バスとの時間間隔がちょうどいいので、路線バスが無い時や乗り遅れた時に使えるようになった。路線バスをうまく補完している。路線バスとの接続も良くなった(新町橋からの乗客)。
- ラブリーホールへ習い事で行くが、早く着けてちょうどいい。
- ダイヤ改正は、電車バスではたまにあることなので、皆もわかっているだろうが、ルートが変わることは影響が大きい。もっとルート変更についてPRしてあげてほしい。
- 主要駅やキックス等では新時刻表を手に入れやすいので、ダイヤ改正の情報も周知されつつあるが、途中のバス停(加賀田口、郵便局前、石坂等)の利用者はダイヤ改正があったことをほとんど知らない。
- モックルバスの利用者は、通院や趣味の外出での利用が多いので、月に数回の利用という人が多いのでは？なので、2週間前や一ヶ月前に乗った人は、ダイヤやルート変更を知らない人が多い。
- 南行きの朝がなくなって不便。ラブリーに行くのに、以前より時間がかかってとても不満。

※おまけ



モックルバス運行最終日に
南海バス様で
設置してくれました！

→バス車内での時刻表配布等を継続し周知を徹底

様式第1-6（日本工業規格A列4番）

第 1 号
平成30年6月27日

国土交通大臣 殿

河内長野市地域公共交通会議
河内長野市原町一丁目1番1号
会 長 榊井 繁春

地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書

地域内フィーダー系統確保維持計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、別添の記載すべき事項を全て記した地域内フィーダー系統確保維持計画を添付すること。

H31 年度地域内フィーダー系統確保維持計画

(名 称) 河内長野市地域公共交通会議

(代表者名) 会長 榊井 繁春

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

公共交通は市民生活を支える大切な交通手段であるが、人口減少や少子高齢化、自動車への過度の依存などの要因により、路線バスやコミュニティバス等の公共交通利用者が年々減少を続けており、持続可能な公共交通を確保することが極めて厳しい状況にある。

そのため、住民、交通事業者、行政などの関係者による協働の取り組みを進め、市内を運行する路線バスやコミュニティバス等の公共交通の維持・発展を図ることを目的とする。

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

○事業の目標

- ・日野・滝畑コミュニティバス（日野・滝畑コミュニティバス2も含む）、天野山線3については、沿線に商業・観光施設等が点在しているため、沿線施設の協力も得て、沿線施設にバスマップの配架、時刻表の掲示、バスロケーションシステムの広報等の利用促進に努め、輸送人員の増加（対前年度比1%の増加）を目指します。
- ・路線バス小深線2、高向線1、天野山線5・4の輸送人員については、前年度実績の維持もしくは減少幅の抑制（対前年度比5%以内の減少）を目指します。
（輸送人員については、「別紙参考資料」のとおり）

○事業の効果

市内各地域と本市の主要駅である河内長野駅をつなぐ路線である当該路線（日野・滝畑コミュニティバス、路線バス小深線2、高向線1、天野山線5・4・3、日野・滝畑コミュニティバス2）を維持・充実させることにより、自動車等を利用できない高齢者など（通勤・通学者を含む）の社会参加や普段の生活（通学、通院、買い物等）に必要となる移動手段、地域の利便性（主に鉄道駅へのアクセス）が確保できる。

3. 地域公共交通確保維持事業に係る目標を達成するために行う事業及びその実施主体

「第2期河内長野市地域公共交通網形成計画」に基づき、公共交通を身近に感じてもらうイベントや社会見学等を通じたモビリティマネジメントの実施など公共交通の利用促進や、バスマップの作成、配布、バスロケーションシステムの広報など利便性の向上に向けた取り組みを実施します。

- ・沿線小中学校生を含む、市内全小中学生にバスマップ付き企画乗車券PRチラシを配布する
（河内長野市地域公共交通会議）
- ・バス1日フリー乗車券PRチラシを市内の公共施設で配布し、各路線の利用促進を促す
（河内長野市地域公共交通会議）
- ・市民まつり、商工祭等のイベントにおいて公共交通を身近に感じてもらうためのブースを設置し、利用促進に努める（河内長野市地域公共交通会議、交通事業者）
- ・沿線住民である小学生を含め、市内の小学生にコミュニティバスの注意喚起のアナウンスに

<p>協力してもらい、公共交通を身近に感じてもらう取り組みを行った（河内長野市地域公共交通会議、交通事業者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前にて時刻表やチラシ等の配布を行い、バスの利用促進に努める（南海バス株式会社）
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
別表1のとおり
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
日野・滝畑コミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス2は河内長野市負担 路線バス小深線2、高向線1、天野山線5、天野山線4、天野山線3は南海バス株式会社負担
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
申請番号1～7：南海バス株式会社
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法
補助対象事業者が乗合バス事業者（南海バス株式会社）のため該当なし
8. 地域公共交通確保維持事業の生産性を向上させる取組を行う場合にあって、当該取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項
地域内フィーダー系統確保維持計画のため該当なし
9. 外客来訪促進計画との整合性
改正後の国際観光振興法に基づく外客来訪促進計画が策定されていないため、該当なし
10. 別表1及び別表3の補助事業の基準二に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要
地域内フィーダー系統確保維持計画のため該当なし
11. 別表1及び別表3の補助事業の基準八に基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧
地域内フィーダー系統確保維持計画のため該当なし
12. 地域公共交通確保維持事業を行う地域の概要
表5のとおり
13. 車両の取得に係る目的・必要性
車両の取得を行わないため該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果
車両の取得を行わないため該当なし
15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の総額、負担者及びその負担額
車両の取得を行わないため該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画
車両の取得を行わないため該当なし
17. 協議会の開催状況と主な議論
<p>○平成29年6月28日 第36回河内長野市地域公共交通会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 河内長野市地域公共交通会議副会長及び監事の指名について ・ 河内長野市地域公共交通会議について

- ・「平成28年度各コミュニティバス等（モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー）」の利用状況について
- ・平成30年度生活交通確保維持改善計画（フィーダー）認定申請
- ・その他

○平成29年10月6日 第37回河内長野市地域公共交通会議

- ・平成28年度河内長野市地域公共交通会議決算報告について
- ・仮称：河内長野市地域公共交通計画（案）について
- ・モックルコミュニティバスについて
- ・企画乗車券PRチラシ・ポスターについて
- ・その他

○平成30年1月22日 第38回河内長野市地域公共交通会議

- ・企画乗車券PRチラシについて
- ・河内長野市地域公共交通計画（案）について
- ・平成29年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
- ・商工祭でのバス・タクシーの展示について
- ・その他

○平成30年3月26日 第39回河内長野市地域公共交通会議

- ・企画乗車券PRチラシについて
- ・河内長野市地域公共交通計画（案）について
- ・平成30年度地域公共交通会議予算（案）について
- ・モックルコミュニティバスの新車導入について
- ・平成30年度新規施策について
- ・その他

○平成30年6月27日 第40回河内長野市地域公共交通会議

- ・「平成29年度河内長野市地域公共交通会議決算報告」について
- ・「平成29年度各コミュニティバス等（モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー）」の利用状況について
- ・企画乗車券PRチラシ・ポスターについて
- ・モックルコミュニティバス新車導入について
- ・平成31年度生活交通確保維持改善計画（フィーダー）認定申請について
- ・高齢者公共交通利用促進事業について
- ・その他

18. 利用者等の意見の反映状況

協議会に地域住民又は利用者の代表として2名の公募委員、河内長野市老人クラブ連合会、河内長野市観光協会及び河内長野市商工会より各々1名が参加することにより、意見を反映させている。

19. 協議会メンバーの構成

学識経験者

大阪市立大学、和歌山工業高等専門学校

国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局長 が指名する者	大阪運輸支局総務企画部門、大阪運輸支局輸送部門
大阪府公安委員会が指名する者	大阪府河内長野警察署交通課
道路管理者が指名する者	大阪府富田林土木事務所
地域住民又は利用者の代表	河内長野市老人クラブ連合会、河内長野市観光協会 河内長野市商工会、公募市民
一般旅客自動車運送事業者	南海バス株式会社、大阪第一交通株式会社 近鉄タクシー株式会社
河内長野市副市長 (都市づくり部を所管する副市長)	副市長
一般旅客自動車運送事業者の運転 手が組織する団体	南海バス株式会社労働組合
その他交通会議が必要と認める者	大阪府、南海電気鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社
その他市長が必要と認めるもの	保健福祉部長、環境経済部長、都市づくり部長、総務部 長、総合政策部長

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行システムの概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

31年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再編 特例 措置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地	終点					運行態様の 別	基準口 で該当 する要 件	接続する補助対象地 域間幹線系統等との 接続確保策	基準二で該 当する要件 (別表7のみ)
河内長野市	南海バス株式会社	(1) 日野滝畑コミュニ ティ	河内長野 駅前	日野	滝畑ダム	往14.8km 復14.8km	365日	2007.5回		路線定期 運行	①	河内長野駅前にて、南海 バス線が運行する補助対 象地域間幹線系統「天野 山線」と接続する	③
		(2) 小深線2 (石見川)	河内長野 駅前	日東町東口	石見川	往11.2km 復11.2km	365日	2252.0回		路線定期 運行	①	河内長野駅前にて、南海 バス線が運行する補助対 象地域間幹線系統「天野 山線」と接続する	③
		(3) 高向線1 (高向)	河内長野 駅前	中高向	高向	往3.5km 復3.5km	365日	6566.5回		路線定期 運行	①	河内長野駅前にて、南海 バス線が運行する補助対 象地域間幹線系統「天野 山線」と接続する	③
		(4) 天野山線5 (旭ヶ丘)	河内長野 駅前	清崎	旭ヶ丘	往4.4km 復4.4km	365日	8133.0回		路線定期 運行	①	河内長野駅前にて、南海 バス線が運行する補助対 象地域間幹線系統「天野 山線」と接続する	③
		(5) 天野山線4 (天野山)	河内長野 駅前	清崎	天野山	往5.6km 復5.6km	365日	785.0回		路線定期 運行	①	河内長野駅前にて、南海 バス線が運行する補助対 象地域間幹線系統「天野 山線」と接続する	③
		(6) 天野山線3 (サイクルセンター)	河内長野 駅前	天野山	サイクル センター	往7.6km 復7.6km	124日	682.0回		路線定期 運行	①	河内長野駅前にて、南海 バス線が運行する補助対 象地域間幹線系統「天野 山線」と接続する	③
		(7) 日野滝畑コミュニ ティ2 (奥河内くろまろの郷)	河内長野 駅前	奥河内 くろまろの 郷・日野	滝畑ダム	往16.2km 復16.2km	365日	1825.0回		路線定期 運行	①	河内長野駅前にて、南海 バス線が運行する補助対 象地域間幹線系統「天野 山線」と接続する	③

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	河内長野市
-------	-------

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	27,791
交通不便地域	

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法

国庫補助上限額の算定

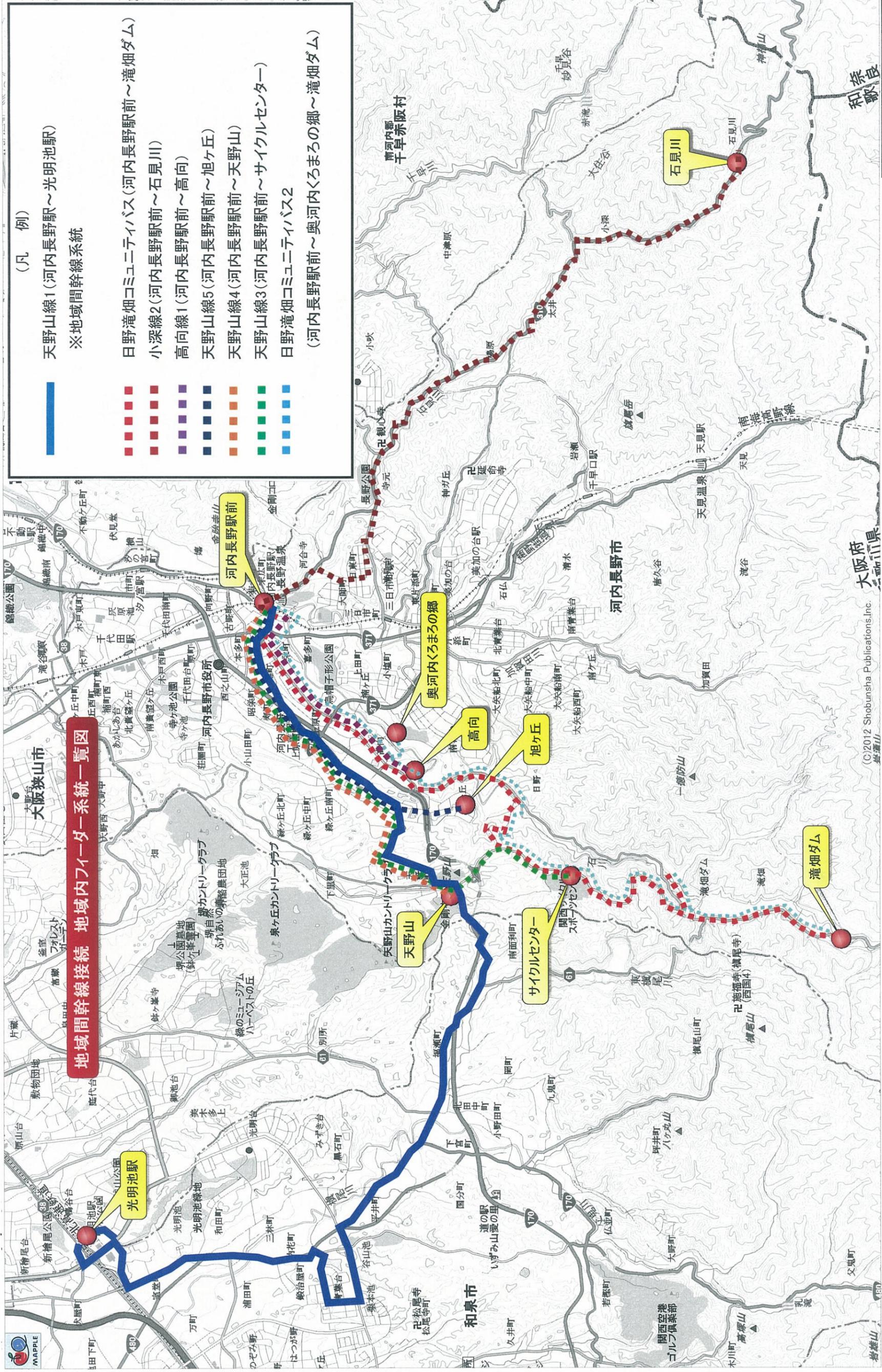
対象人口	算定式	国庫補助上限額
27,791	$27,791 \times 120 \times 0.7 + 200$ 万円	4,334,000

(1)記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、過疎地域自立促進特別措置法に基づく過疎地域(過疎地域とみなされる市町村、過疎とみなされる区域を含む。)、離島振興法に基づく離島振興対策実施地域、半島振興法に基づく半島振興対策実施地域、山村振興法に基づく振興山村に該当する地域の人口及び実施要領(2.(1)⑭)に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計(重複する場合を除く)を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律(根拠法)に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2)添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図
(ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可)



(凡例)

天野山線1(河内長野駅～光明池駅)

※地域間幹線系統

日野滝畑コミュニティバス(河内長野駅前～滝畑ダム)

小深線2(河内長野駅前～石見川)

高向線1(河内長野駅前～高向)

天野山線5(河内長野駅前～旭ヶ丘)

天野山線4(河内長野駅前～天野山)

天野山線3(河内長野駅前～サイクルセンター)

日野滝畑コミュニティバス2
(河内長野駅前～奥河内くろまろの郷～滝畑ダム)

地域間幹線接続 地域内ライダーシステム一覧図

1 : 50,000 相当

(C)2012 Shobunsha Publications, Inc.

地図上の1センチは約500メートル
印刷中心は 東経 135度33分41秒 北緯 34度25分47秒

地域内フィーダー系統 運行本数(H31)

	平日ダイヤ (計241日)													
	①日野・滝畑コミュニティバス		⑦日野滝畑コミュニティバス2 (奥河内くろまろの郷経由)		②小深線2 (石見川起終点)		③高向線1 (高向起終点)		④天野山線5 (旭ヶ丘起終点)		⑤天野山線4 (天野山起終点)		⑥天野山線3 (サイクルセンター起終点)	
	河内長野駅前発	滝畑ダム発	河内長野駅前発	滝畑ダム発	河内長野駅前発	石見川発	河内長野駅前発	高向発	河内長野駅前発	旭ヶ丘発	河内長野駅前発	天野山発	河内長野駅前発	サイクルセンター発
5										36				
6		2 43			56	29 54	36	0 17 57	40	0 17 55		44		
7		33				36	15	37 49	42	2 25		11		
8		7					0 43	19	48	5 39	14			
9			4				30	2 48	17 55	10 39				
10				3			6 30	49	43	16				
11			2				28	49	23	4 46				
12			30	0			55		5	30				
13			21	25	37		55		5	30				
14				19	50*		55	20	5 55	30				
15			21				55	20	24 55	17 46				
16	21			19	2# 55		55	20	24 55	17 46				
17	17	13			55	37	37	15	20 55	17 42				
18	16				37		0 37	18	26 56	17 48				
19		8			39		9 39	27	52		9			
20	0						29	50	50	15	10			
21	38				24		2				19			
22									0 25 50					
23									25					
本数	5	6	5	5	8	4	20	17	25	25	4	2	0	0
キロ程	14.8	14.8	16.2	16.2	11.2	11.2	3.5	3.5	4.4	4.4	5.6	5.6	7.6	7.6

*印:水曜日運行
#印:月火木金曜日運行

	土休ダイヤ (土曜日・日曜日・祝日・12月30日～1月3日・8月13日～15日 計124日)													
	①日野・滝畑コミュニティバス		⑦日野滝畑コミュニティバス2 (奥河内くろまろの郷経由)		②小深線2 (石見川起終点)		③高向線1 (高向起終点)		④天野山線5 (旭ヶ丘起終点)		⑤天野山線4 (天野山起終点)		⑥天野山線3 (サイクルセンター起終点)	
	河内長野駅前発	滝畑ダム発	河内長野駅前発	滝畑ダム発	河内長野駅前発	石見川発	河内長野駅前発	高向発	河内長野駅前発	旭ヶ丘発	河内長野駅前発	天野山発	河内長野駅前発	サイクルセンター発
5														
6		2 43			30	15		11		11		58		
7		33			33	16	5 30	0 34 48	22	19 45				
8		7				15	0 36	23 54	9	32				
9			4				28 59	47	12	33			28	
10				3			27	19 49	12	33			0 27 49	35
11			2		52		27	49	12	34			55	
12			30	0		29			5	34			55	
13			21	25					5	30				
14				19			5 55	30	5	30				
15			21					16	5	30				30
16	21			19			51		5	30				15 45
17	17	13			54		54	10	16 54	40				45
18	16				53	35	53	12	25	17 46				
19		8				32	18 40	11 36	0 24	48				
20	0				0	36	54	0	24	48				
21	38							12	25					
22														
23														
本数	5	6	5	5	6	7	16	18	17	17	0	1	6	5

輸送人員(人)

		日野滝畑コミュニティ (26年11月より日野滝畑コミュニティ2も含む)	小深線2(石見川系統)	高向線1(高向起終点系統)	天野山線5(旭ヶ丘系統)	天野山線4(天野山起終点系統)	天野山3(サイクルセンター系統)
27年補助設定期間	平成26年 10月	7,260	4,482	7,585	15,617	1,465	529
	平成26年 11月	6,914	4,495	6,826	14,647	1,186	601
	平成26年 12月	5,174	3,745	6,986	14,775	1,363	471
	平成27年 1月	4,901	3,611	6,979	13,829	1,485	434
	平成27年 2月	5,072	3,550	6,403	13,351	1,517	420
	平成27年 3月	6,577	3,742	7,469	14,606	1,576	450
	平成27年 4月	6,852	3,578	6,215	15,719	1,523	491
	平成27年 5月	7,746	3,774	5,976	14,841	1,324	1,142
	平成27年 6月	6,572	3,989	6,729	16,101	1,469	397
	平成27年 7月	7,054	3,667	6,633	16,159	1,372	528
	平成27年 8月	7,844	3,333	5,910	14,253	1,204	779
	平成27年 9月	7,611	3,916	6,319	14,818	1,354	1,432
	期間計	79,577	45,882	80,030	178,716	16,838	7,674

28年補助設定期間	平成27年 10月	8,038	3,303	6,525	16,250	1,278	967
	平成27年 11月	6,788	4,028	6,418	15,233	1,258	936
	平成27年 12月	5,847	3,697	6,346	15,133	1,233	376
	平成28年 1月	5,398	3,090	5,748	13,420	1,182	274
	平成28年 2月	5,698	3,507	5,882	14,665	1,267	384
	平成28年 3月	6,888	3,856	6,250	17,034	1,631	849
	平成28年 4月	6,796	3,814	6,320	15,284	1,612	1,312
	平成28年 5月	8,693	3,597	6,554	15,091	1,224	1,773
	平成28年 6月	6,252	3,745	6,337	15,603	1,492	540
	平成28年 7月	7,109	3,559	5,763	15,202	1,558	1,166
	平成28年 8月	8,383	3,285	5,262	14,054	1,228	1,235
	平成28年 9月	6,178	3,556	5,669	14,050	1,407	1,059
	計	82,068	43,037	73,074	181,019	16,370	10,871
前年度比		103.1%	93.8%	91.3%	101.3%	97.2%	141.7%

29年補助設定期間	平成28年 10月	7,560	3,770	5,963	14,365	1,272	1,535
	平成28年 11月	7,749	4,026	5,887	14,406	1,263	1,291
	平成28年 12月	5,460	3,694	5,896	14,199	1,210	706
	平成29年 1月	4,549	3,792	5,396	13,153	1,135	676
	平成29年 2月	4,932	3,546	5,813	13,224	1,261	491
	平成29年 3月	7,726	3,641	5,964	14,590	1,499	1,124
	平成29年 4月	6,743	3,379	6,376	13,887	1,478	1,033
	平成29年 5月	7,844	3,503	6,868	13,983	1,344	1,799
	平成29年 6月	7,516	3,432	6,853	14,853	1,594	658
	平成29年 7月	6,772	3,253	6,319	14,360	1,308	785
	平成29年 8月	8,935	3,043	5,814	13,345	1,392	1,342
	平成29年 9月	7,499	3,422	5,689	13,485	1,414	1,114
	計	83,285	42,501	72,838	167,850	16,170	12,554
前年度比		101.5%	98.8%	99.7%	92.7%	98.8%	115.5%

30年補助設定期間	平成29年 10月	6,767	3,513	6,766	14,335	1,257	1,222
	平成29年 11月	8,798	3,772	6,451	13,945	1,248	1,728
	平成29年 12月	5,817	3,331	6,137	14,327	1,254	722
	平成30年 1月	4,808	3,604	5,889	13,401	1,143	751
	平成30年 2月	5,184	3,258	5,613	12,754	1,126	704
	平成30年 3月	8,117	3,635	6,663	14,578	1,438	1,493
	計	39,491	21,113	37,519	83,340	7,466	6,620
28年10月～29年3月計		37,976	22,469	34,919	83,937	7,640	5,823
前年度比		104.0%	94.0%	107.4%	99.3%	97.7%	113.7%

【目標・効果における追記事項】

輸送人員	増加(対前年度比1%)	維持 [※] もしくは減少幅の抑制	維持 [※] もしくは減少幅の抑制	維持 [※] もしくは減少幅の抑制	維持 [※] もしくは減少幅の抑制	増加(対前年度比1%)
<p>※人口減少(H29年3月末107,963人→H30年3月末106,713人)が続く中で、輸送人員を維持することは実質的には輸送人員増を意味すると考えます。よって、平成31年度(30.10～31.9)の輸送人員が平成30年度(29.10～30.9)の維持もしくは減少幅を極力抑制(対前年度比5%以内の減少)を目指します。</p>						

高齢者公共交通利用促進事業について（H30～H32社会実験）

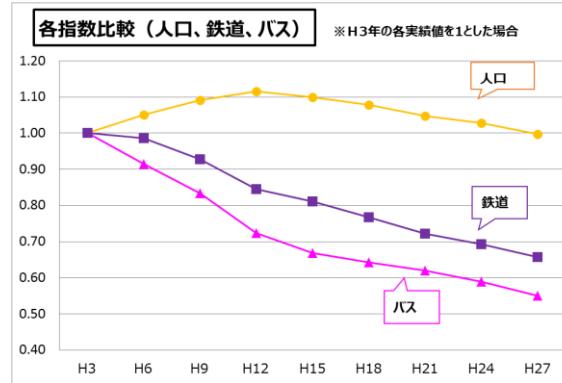
計画⑤ 高齢者が利用しやすい公共交通環境の整備による外出の支援

現状・背景

- 少子高齢化で公共交通の通勤通学利用が減少
- 公共交通の衰退
- H30年3月末時点の高齢化率約33%（府内の市の中でトップ）



★人口比率で多数派となる高齢者に公共交通を利用してもらうことが、公共交通の利用促進に繋がる★



資料：河内長野市統計書、南海バス

高齢者の傾向

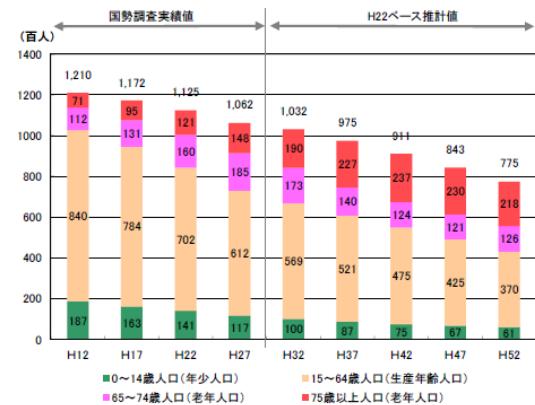
- 高齢者人口の割合が増加（特に75歳以上）
- 認定率※1 65歳～74歳 5.2% → 75歳以上 38.41%
- 閉じこもりの割合※2 65～74歳 3.4% → 10.1%
- 運動機能低下割合※2 65～74歳 6.9% → 24.8%

出典：※1 H29年12月時点介護保険課データ

※2 介護予防・日常生活実態把握調査報告書



★75歳以上の高齢者に公共交通を利用してもらうことでさらに様々な効果が見込まれる★



資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

効果

- 効果① 公共交通の利用促進
- 効果② 高齢者の外出機会の創出
- 効果③ 高齢者の健康増進や介護予防
- 効果④ 地域経済の活性化
- 効果⑤ まちなかの交流人口増加 等々

公共交通の活性化 & 高齢者が移動しやすい運賃施策の検討

対象：75歳以上！

★タクシー等利用助成券の発行★

タクシー等利用助成券の概要

◆目的

- ・公共交通の利用促進
- ・高齢者の外出機会の創出
- ・健康増進や介護予防
- ・地域経済の活性化
- ・まちなかの交流人口の増加 等々

◆利用可能な交通

H30年度：タクシー、楠ヶ丘地域乗合タクシーくすまる

◆利用助成券発行対象者

利用助成券発行年度末日である3月31日時点で満75歳以上 約19,000人

◆利用助成券の内容

1人1,000円相当額（100円割引券×10枚）

◆利用助成券の発送時期および方法

9月下旬ごろ、対象者へ郵送（予定）

◆利用方法

- ①クーポン利用で1回につき最大2枚まで利用可（くすまるは、1回につき1枚）。
- ②乗車地若しくは降車地が本市内であること。

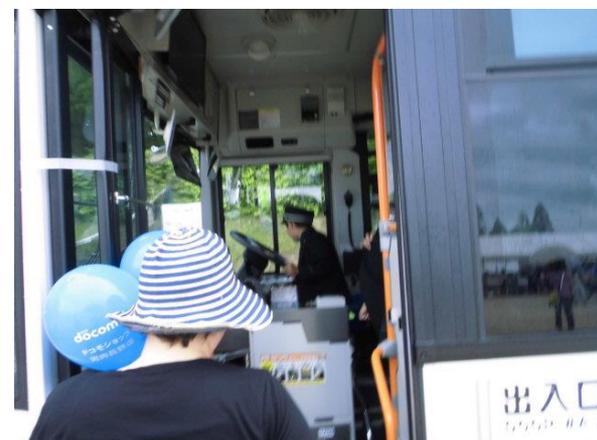
◆実施期間 平成30年度～32年度（社会実験） ※要効果検証

- ・外出回数の変化
- ・健康増進、介護予防への貢献度
- ・地域経済の活性化への貢献度等々

- 👉 計画⑬ 市民の積極的な参加を促進する働きかけ
- 👉 計画⑮ 地域住民や交通事業者等の関係者との協働や連携の促進

市民まつり

開催日：平成30年5月13日(日)



第2期地域公共交通網形成計画に基づく取組み

交通環境教室

平成27年度実施（国土交通省近畿運輸局、南海電鉄(株)、南海バス(株)）

1日交通かんきょう教室

参加費 無料

～これからはもっと楽しくバス・電車～

かんきょうにやさしいバスや電車、その役わりや良いところを知って公共交通を親子で一緒にかんがえよう！
バスに乗っての移動や、電車の車庫見学もできるよ！

日時：8月21日（金） 10:00～16:00

場所：午前会場 河内長野市立市民交流センター（キックス）
午後会場 南海電車 千代田工場
※午前会場から午後会場へはバスで移動します
※集合場所と解散場所が異なりますのでご注意ください

対象：市内在住の小学校1～6年生と保護者のペア
定員：25組（50名）★申し込み多数の場合は抽選
参加費：無料



平成30年度実施

- 開催時期 平成30年11月28日(水)
- 参加対象 三日市幼稚園の園児（4歳児・5歳児：計19名）及び保護者
- 協力事業者 国土交通省近畿運輸局、呉工業高等専門学校、（公財）関西交通経済研究センター、南海バス(株)
- 主な内容
 - ・環境に優しい交通に関するお話（学識者による講話）
 - ・バス教室（南海バス営業所・整備工場の見学等）
 - ・バスに関する説明（移動中の車内コンテンツ）
 - ・バリアフリーに関する説明（移動中車内コンテンツ）
 - ・市内路線バス・コミュニティバスの紹介（河内長野市）
 - ・バスお出かけプラン作り（ワークショップ）

